

イタリア自転車市況－2012

1. 完成車生産

イタリア二輪車工業会(ANCMA)によると、2011年に引き続き、2012年も天候不順と欧州債務危機によるイタリア経済不況の影響により、イタリア自転車産業界は低調となった。2012年自転車(完成車)の国内生産台数は前年比9.9%減の219万台となり、過去4年間で減少が続いている。

車種別生産台数で見ると、2012年はロードバイク、子供車・幼児車が前年より台数が増えたが、MTBとシティ車・スポーツ車は前年より生産台数が減少している。その中でも特にシティ車・スポーツ車は、生産台数では前年比35.2%減、生産比率では前年より10ポイント減と大幅に減少した。

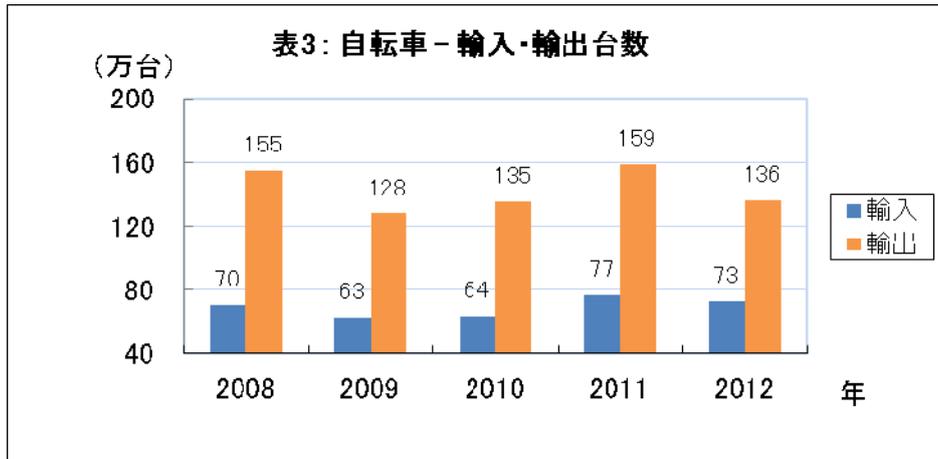


表2: 車種別生産台数

年	2008		2009		2010		2011		2012	
	(千台)	(%)	(千台)	(%)	(千台)	(%)	(千台)	(%)	(千台)	(%)
MTB	785.4	33	668	26	642	26	675	28	645	30
ロードバイク	95.2	4	115	4	102	4	72	3	96	4
シティ車、スポーツ車	428.4	18	897	35	825	33	850	35	550.2	25
子供車、幼児車	1071	45	905	35	920	37	833	34	898.8	41
計	2380	100	2585	100	2489	100	2430	100	2190	100

2. 輸出入

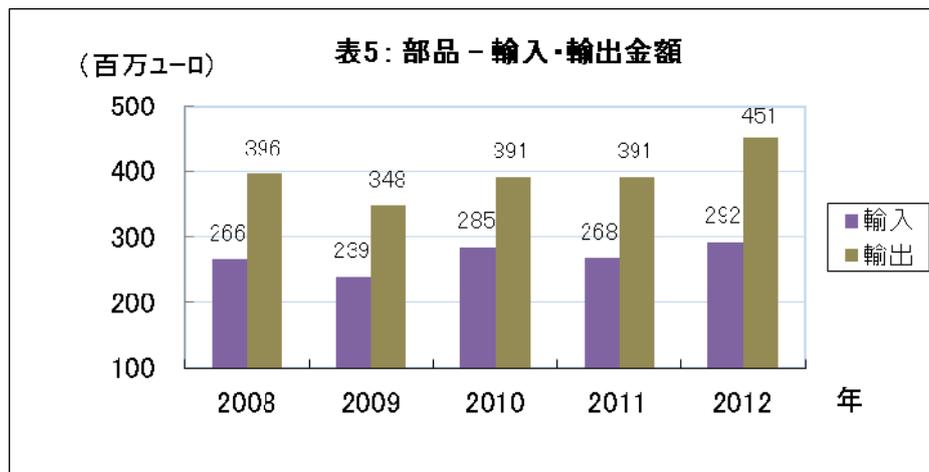
2011年には復調を見せた完成車の輸出入台数であったが、2012年の輸出台数は前年比14.5%減の136万台と再び減少に転じた。なお、輸出の9割以上はEU諸国向けであり、その他向けは、全体の2%程度とごくわずかである。2012年の完成車の輸入台数については、前年比5.2%減の73万台と減少した。因みにEU諸国からの輸入が全体の6割程を占めているが、その他の地域からでは、台湾、チュニジア、スリランカ及びフィリピン等からの輸入が上位となっている。



経済不況により、生産・輸出入共に低調な完成車部門とは対照的に、自転車部品の輸出入については、重量、金額ベース共に前年より増加した。重量ベースでは、輸入重量は前年比3.1%増、輸出重量は同比13.2%増となった。輸出重量の8割以上はEU諸国向けとなっており、また、輸入重量の8割近くは中国からが占め、それ以外のアジア地域で1割強である。

金額ベースでは、輸入金額は前年比9.0%増し、更に輸出金額では同比15.3%増となり、重量、金額ベース共に部品輸出が一段と高い増加率を示した。サドル等、様々な部品メーカーを抱えるイタリア自転車産業界にとって、2012年の部品輸出入は堅調な結果となった。

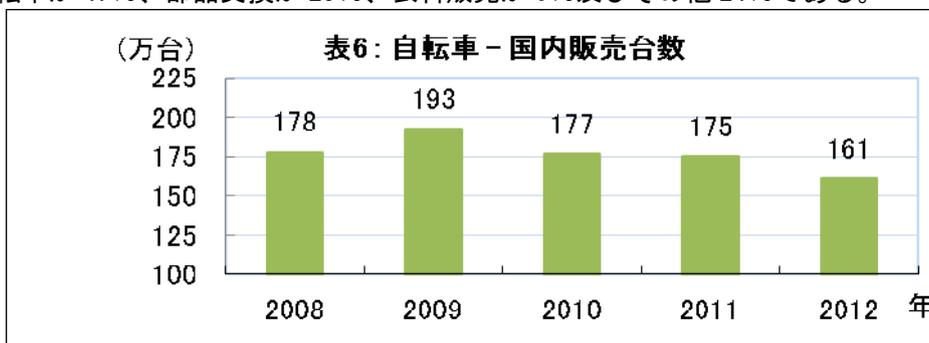




3. 販売

完成車の2012年国内販売台数は、前年比8%減の161万台に落ち込んだ。しかしながら、電動アシスト自転車(EPAC)については、2012年は前年比9.5%増の48,200台となり、車種別販売比率では、2012年にはEPACの車種別販売比率は3%に達したとされ、その他の車種では、最多比率はシティ車・トレッキング車の32%であり、次いでMTBが30%、子供車・幼児車18%、ロードバイク7%、その他10%となっている。

業態別の販売比率で見ると、販売台数では自転車小売専門店が40%、大型スポーツ店が30%、量販店が30%となっている。販売金額では、自転車小売専門店が54%と半数を占め、大型スポーツ店が28%、量販は18%である。因みに自転車小売専門店の商品別比率では、自転車が47%、部品交換が23%、衣料販売が6%及びその他24%である。



4. 今後の見込み

2011年から引き続き、2012年も依然として国内経済情勢が厳しい中であっても、自転車販売の減少率は他産業と比べて低く、イタリア自転車産業界の状況は底堅いとANCMAは述べている。近年、イタリアでもサイクリングや日常の移動手段として、自転車を利用する機運は高まりつつあり、自転車小売専門店を中心に販売回復が期待されている。

なお、ここ数年、2つの自転車展示会が競合状態となっていたイタリア自転車業界であったが、ANCMAとパドバ自転車展(EXPO BICI)主催者との話し合いにより、2つの自転車展示会を一つに統合することとなった。本年9月21~23日の間、EXPO BICIは「国際イタリア自転車展」として装いも新たに開催される。業界内に少なからぬ混乱をもたらした分断状況もようやく解消され、更に規模拡大も見込まれる新自転車展が、同国自転車産業界にどのような効果をもたらすのか、同国自転車市場の動向を知る上でも注目される。

以上
統計出所: ANCMA